

## 県外派遣報告書

審判員名	大井 陽平	所属 埼玉県
大会名	第28回関東高等学校バスケットボール新人大会 栃木県大会	
期間	平成30年2月9日(金)～2月11日(日)	
会場	清原体育館・白鷗大学体育館	
スケジュール		
期 日	内 容	場 所
2月9日(金)	審判会議・レクチャー	宇都宮ホテル
2月10日(土)	1回戦・2回戦	白鷗大学体育館
2月11日(日)	準決勝・決勝	清原体育館
会議 講義 内容		
<p>●久保 知仁氏(指名)【大会に臨む心構え】</p> <p>①パートナーとの協力:綿密なプレゲームカンファレンスと2人・3人でゲームを進めていく強い意識が必須。想定外の時にどのくらい対応ができるかが重要。そのためにもあらゆる準備をして必ず共有しておくこと。</p> <p>②県を代表して派遣されているレフリーとしての意識:いつでも見られているという意識を強く持つ。コンディションを整えるのはもちろんだが自分自身のレベルアップの場にするよう積極的に参加する。</p> <p>③地元レフェリーが良い状態でコートに立てるように:同じ審判員だがそれ以外のお仕事をやって頂いてる。自分のことをしっかりやり全体で円滑でより良いマネジメントをする。</p> <p>●清水 幹治氏(指名)【ガイドライン】</p> <p>①ハンドチェックの適応:ハンドチェックが適応されるのは4つしかない。またチープな判定と区別するのであって明確な根拠をもったうえで整理しきらないといけない。</p> <p>②判定のすり合わせについて:同じプレイでも審判員によって判定が異なることも多々あり、その根拠も様々なものである。3人ないし2人の間でいかにして判定基準をすり合わせすることができるかが、よいクルーワークをうむ。そのためには、ルール・ガイドラインの徹底に加えてコミュニケーションが必要になってくる。プレゲームカンファレンスを含め、どの基準で判定すべきかを密に話し合う。</p> <p>③メカニクス:初日は2POになるが、よい判定をより多くし続けるにはメカニクスの理解が必要である。</p> <p>●渡邊 整氏(関東ブロック審判長)【ブロック長挨拶】</p> <p>昨今トップリーグが注目され我々審判も変化と進化を求められている。あと2・3年後にはプロ選手として活躍する選手が今大会にも多くいるはずである。そのようなプレイヤーたちに正しいバスケットとは何か早い段階で伝えることは重要な責務である。また、今年度最後のブロック大会でもあり栃木県の皆様含め各県の代表である皆さんとともにより良い大会運営をしていきましょう。</p>		

実技			
担当試合	期 日	2月10日(土)	女子
	対戦カード	アレセア湘南 VS 文星女子	副審
	相手審判	佐藤 弘之氏(群馬県)	
ミーティング内容		主任	
<p>○主任:武井 晋平氏(栃木県)            全体的に大きな問題はなかったが、自分の前から始まったドライブに対する判定ができていないケースがいくつかあった。プレイに長く時間を当てているからこそ判定をすべき。ピックインパクトをコールした後やベンチが動き出しているときに、より緊張感をもっていること。2POと3POの区別をしっかりとつける。特にリードで右に行き過ぎている場面があり、逆サイドが薄くなっている時があるので、右に行くタイミングを精査していく。</p> <p>○主審:佐藤 弘之氏(群馬県)            リードが中に入りすぎてしまうことが何回もあり、ピンポイントしか見れていないときがある。アウトサイドインを意識してより広いアングルでプレイを捉える。ゲームの大事なプレイヤー・時間帯を把握して笛にメッセージをこめる。</p> <p>○渡邊 整氏(関東ブロック長)            プレゼンテーションにさらに磨きをかける。ブロッキングの判定力を上げる。リーガルガーディングポジションをよく見極めて、ディフェンスはどこからのどのタイミングで接触しているのかを確認・判定する。特に女子のケースを判定できるように。笛は基本的に1つ。2度笛は注目させたい時に使う。</p>			
全体の感想			
<p>今回の高校関東新人では、ブロック大会の緊張感とレベルの高さ・多くの方々からの貴重なお話など多くの事を感じ学ばさせて頂きました。そして、改めて判定力の重要性を学びました。明確な判定の根拠を持ち、それがぶれることなく一貫して判定し続けることが課題として見えました。また、2POと3POではメカニクスが違うということを理解し使い分けが必要であることも学びました。加えて、プレゼンテーションのところではもっと声を使い、丁寧で分かりやすいプレゼンテーションをしていくべきなど多くのことをトップリーグを経験されているの方々から御指導頂きました。</p> <p>栃木県バスケットボール協会・審判員の皆様におかれましては、細部にまでわたる御配慮ありがとうございました。また、このような大会に派遣させて頂いた北島寛臣埼玉県審判長をはじめ、県内審判員の方々に心より感謝申し上げます。今後さらに判定力・メカニクスなど一層磨けるよう日々精進してまいりますので御指導お願い致します。</p>			